

経済概況（ピエモンテ州）

2023年4月
在ミラノ総領事館

基礎データ

* 括弧内の％は伊全体に占める割合

- 面積：25,387km²（8.4％） ●人口：4,256,350人（7.2％、2022年）
- 名目GDP：1362億8080万ユーロ（7.6％、2021年）
- 1人あたりの名目GDP：31,949ユーロ（伊30,136ユーロ、2021年）
- 経済成長率：+3.4％（伊+3.9％、2022）
- 失業率：6.6％（伊8.2％、2022年）
- 輸出額：590億2500万ユーロ（9.4％、前年比+18.5％、2022年）
- 主要輸出品目：道路用車両、繊維、食品・飲料、一般製造用機械、手工業製品、食品・飲料、化学製品、プラスチック、非金属鉱物

（出典：伊国立統計局（ISTAT）及び伊中銀）

対日貿易

- 対日輸出：3億1600万ユーロ（2022年第1及び第2四半期）
- 対日輸入：2億5300万ユーロ（2022年第1及び第2四半期）

（2022年11月、出典：伊中銀）

経済動向

<2022年第4四半期>（ピエモンテ商工会議所レポートより抜粋）

- 同州の2022年における経済成長は+3.4％を記録したが、2021年（+7％）及び2022年全国平均（+3.9％）を下回った。
- 2022年第4四半期の経済成長は+2.7％となり前四半期（+1.7％）を上回ったものの、2021年（+10.3％）に比べると低い結果となった。企業別にみると零細企業（9人以下）が+1.5％、小企業が+1.9％、中企業が+2.6％、大企業が+5.7％である。一番成長した分野は自動車産業（+8％）、内一般車両の製造が+14.1％、自動車部品の製造が+7.7％である。続いて電気・電子機器（+5.9％）、木材・家具（+5.3％）である。なお、2023年の経済成長率は0.4％と予測されており、減速傾向にある。
- 2022年第4四半期における設備稼働率は前年同時期の71.6％から68.4％に低下した。
- 同州において最も高成長を記録したのはトリノ市（+4.6％）であり、続いてビエレッセ市（+4％）、アスティ市（+2.7％）である。
- 2022年の投資活動調査に参加した1,859社の回答によると、10企業の内3企業のみ投資活動を行った。17％がエネルギー価格の高騰を理由とし、50％がいずれにしても投資はしないと回答。また投資を行った企業の内、99.3％が大企業である。

